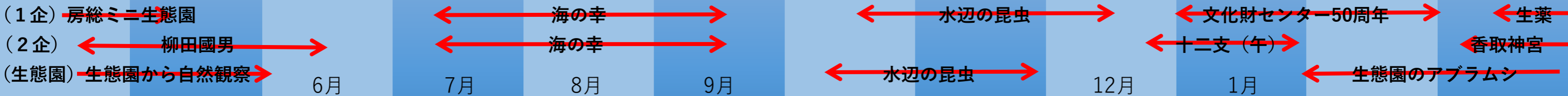


千葉県立中央博物館 令和7年度 展示計画案



千葉の海の魅力を紹介する展示

一般入館料 800円

特別展

『海の幸 ～千葉の豊かな海と食文化～』 (仮)

会期：令和7年7/12～9/15 (仮)

内容：三方を海に囲まれた千葉県は海産物の宝庫。県内各地に伝わるユニークな海の幸を、食材の自然誌、漁法、食文化など様々な視点から、中央博物館が総力をあげて、かつてない深さで解説します。

はば雑煮▼



▲イセエビ



▲クジラのたれ▲



▲タカアシガニ▶

研究員の研究成果を紹介する展示

一般入館料 300円

秋の展示

『水辺の昆虫』 (仮)

会期：令和7年10/18～12/21 (仮)

内容：トンボやゲンゴロウに代表される水辺の昆虫は近年全国的に個体数を減少させています。千葉県は南関東で数少ない水辺の残る場所の一つであり、多くの水辺の昆虫が生息しています。本展示では、彼らの魅力や生態、取り巻く課題についてご紹介します。



▲ショウジョウトンボ



▶シマゲンゴロウ

自然誌系と人文系が連携した展示

一般入館料 300円

春の展示

『生薬～自然からの恵み～』 (仮)

会期：令和8年3/14～5/31 (仮)

内容：古来、人々の傷を癒し、病から命を救ってきたのは、動物、植物、鉱物など自然界から見つけ出された生薬でした。使い方を誤れば毒にもなる生薬を、使いこなす術を伝えたのが本草学です。自然誌標本及び本草書を用いて、生薬を解説します。

写真左：
ロート根
(ハシリ
ドコロの根)

写真右上：
マンネンタケ
写真右下：
『福草考』
より「靈芝」

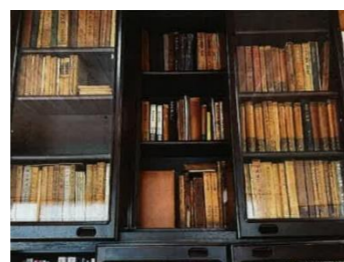


トピックス展

生誕150周年記念 民俗学の父 柳田國男 －著書からさぐる民衆の学問－

会期：令和7年4/15
～6/15 (仮)

内容：民俗学の父・柳田國男生誕150周年の年に、初版本を含む柳田著書コレクションを展示。柳田著書▼



十二支にちなんで －午年－

会期：令和7年12/23
～令和8年1/25 (仮)

内容：毎年恒例のお正月の展示です。令和8年は『午』。ウマにちなんで名付けられた様々な生きものや、ウマが描かれた絵はがき、マッチラベルなどを展示します。

ウマノズクサ標本▶



▲ウマが描かれたマッチラベル

式年神幸祭記念 香取神宮展

会期：令和8年3/14
～5/31 (仮)

内容：令和8年度に行われる12年に一度の香取神宮式年神幸祭に合わせ、水上交通と深く関わりのある香取神宮の歴史を紹介します。



▲香取神宮神幸祭「御座船」▲

生態園トピックス展

- ・水辺の昆虫
- ・生態園のアブラムシ

トピックス展 地中からのメッセージ －公益財団法人千葉県教育振興財団 設立50周年記念展 part 2－

内容：設立50周年を迎えた教育振興財団（文化財センター）が発掘した選りすぐりの考古資料を展示します。